

被災経験を通して知る 水道の必要性と復旧



東北学院大学
吉田 望

主な時間経過

- 発生の日
 - 歩道橋で津波から避難 12時間
- 2～3日目
 - 大学内。避難所の食事。停電
- 3～4日目
 - 家の泥片付け（仮）
- 5日目：電気の復旧（大学）
- 10日目：電気の復旧（自宅）
- 23日目（4月4日） 水道の復旧
 - 本格復旧の開始

地震後の被害

本・コーヒーマーカー



ディスプレイ
機の引き出し



書棚

その後の行動



- ・携帯電話を取りに帰る
- ・風呂に水を貯める
- ・大学に戻る

津波の襲来-1-



津波の襲来-2-



津波の襲来-3-



我が家の状況

朝



夕方



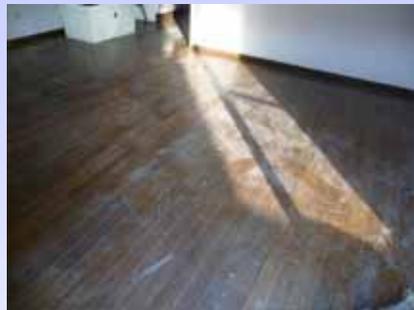
三日目：被害状況



一番のショック



泥の清掃



泥を拭いた状態
排水路の水ではこれ以上は無理



とりあえず家の前に泥を積み上げる

泥の量は、掃除をするたびにどんどん増えていった

その後の生活

■ 電気が通るまで：10日

- 大学の事務室での生活
 - ▶ 3食カップラーメン
 - ▶ 保健室のベッドで睡眠

■ 通電後

- 寝るのだけは家で
 - ▶ ネットが使える
 - ▶ トイレの水は先に貯めた風呂の水
- スーパーも手近に
 - ▶ 野菜も肉も魚も、ほとんど並ばないでも買えるでも、買う気がしない
 - » 単身故の事情

水道の復旧について

- 水道の復旧：23日後
 - 本格復旧の開始
 - 水がないと何もできない
 - ▶ 電気より水が大事
- 多賀城市の広報
 - インターネットによる情報提供
 - ▶ 水道が断水している理由
 - ▶ 復旧の予測
 - ▶ Webを見ることができる人ばかりではない

なぜ、復旧まで3週間以上も？



- 水源：七ヶ宿ダム
100km以上
多賀城市
- 途中で17市町村が取水
- たった一本の線で
 - 冗長性が必要では

お風呂の苦労

- 水が無い
- ガソリンが無い
- 地震後10日目：初めてのお風呂
 - 知り合いの会社の社員の家（仙台市）
 - ▶ 電気 + ガス（プロパン） + 水
 - これが揃わないと、風呂は入れない
 - » ガス、水のどちらかが無い家が大部分
- 卒業生の実家
- 地震の被害調査
 - 温泉でゆうゆう
- 4月4日の通水
 - 給湯器の故障
 - ▶ 寒い日にパイプが凍って破裂
 - 4月7日の余震で停電（二日）
- 4月9日：やっとわが家で

水道の必要性

- 飲料水：一日3リットル
 - 市町村の考え
- 私の指摘（地震前）
 - 生活用水の必要性
 - ▶ トイレ、風呂
- 被災してみても
 - 生活用水
 - ▶ 炊事
 - 復旧作業
 - ▶ 清掃作業

